

舞根地区 堤防建設せず

気仙沼 市長、住民に意向表明

気仙沼市唐桑町の舞根地区で地元住民が防潮堤建設に反対している問題で、菅原茂市長は7日、

舞根2区の住民4人が

この日、市役所を訪れ、建設計画撤回を求める要望書を提出。対応した菅原市長は「住民が高台に

波防護機能を持つ堤防整備

明記している。

移転し、低地に守るべき資産がなければ、現場を調査した上で（堤防建設を）やらないという方向で進めたい」と語った。

「市も同じ考えを持って



舞根地区の住民に防潮堤を造らない考えを説明する菅原市長（左）

備の方針を示した。

舞根2区では自宅が流

失した住民の多くが高台移転を選択し、浸水域は湿地として活用する構想が浮上。住民からは「巨大堤防は海と陸を分断し、美しい景色や自然環境が奪われる」と建設反対の声が上がっていた。要望した舞根2区行政委員の島山環さん(73)は

「市も同じ考えを持って

いるようなので、建設計画の撤回に向けて前進した」と話した。

堤防建設について、市震災復興計画は「各地域の住民意向など総合的視点から、関係機関と整備手法を協議していく」と